

城陽民児協だより

第109号

城陽地区

民生委員児童委員協議会
令和7年1月1日発行
発行：城陽民児協広報部

=== 地域の皆さんとの出会い・ふれあい・支えあいを大切に!! ===

あけまして おめでとう ございます！

城陽地区の皆様、新たな年が始まりました。

今年も皆さんと共に、楽しい催しを行っていきたいと思います。昨年の「親子ふれあい活動」では、ポッチャという競技を体験してもらいました。体験後、ミンジーの缶バッジを制作し、高齢者へのメッセージとして、「こんな地域になって欲しい」「私の夢」などを親子で書いてもらいました。そのメッセージを「高齢者ふれあいサロン」の方々にお届けして、心ほぐれる楽しい体操をして頂きました。この一年も子どもから高齢者までがつながる、心温まる一年にしていきたいと思います。

民生委員児童委員は地域の見守り役・相談役として、各地区にあります。お困りごとは、各地区の民生委員児童委員、主任児童委員にお気軽にご相談してください。

城陽地区民生委員児童委員協議会 会長 平塚 聡

令和7(2025)年の干支(えと)は「乙巳(きのと・み)」です。

「乙巳」の「乙(きのと)」は、十干(じっかん)の2番目で、広がっていく美しい草花を表します。「乙」と「巳」を組み合わせた「乙巳」に当たる令和7(2025)年は、これからの成長をさらに安定したものへと育てていく年だと言えます。前回の「乙巳」は、昭和40(1965)年でした。

「巳」は十二支の6番目で、蛇(へび)を表します。蛇には一般的にネガティブなイメージもありますが、古来より豊穡や金運を司る神様として祀られることもあり、神聖な生き物として認識されてきました。たくましい生命力があり、脱皮をするたびに表面の傷が治癒していくことから、医療、治療、再生のシンボルともされています。また、運氣を上げる縁起物としては定番となっており、蛇の登場する夢を見ると吉兆とされたり、蛇皮の財布や蛇の抜け殻を財布に入れて持ち歩くと金運が上がるとも言われています。

巳年生まれの方は蛇のように辛抱強く、粘り強い性格を持つとされています。また、知恵や洞察力に優れているとも言われています。

令和7(2025)年が城陽地区の皆様にとって、よき年になることを念じております。



城陽民児協障害者福祉研修会の開催

令和6(2024)年10月21日(月)、障害者福祉研修として大津市にあります社会福祉法人湘南学園を訪問しました。湘南学園の歴史は古く、明治37(1904)年に滋賀の地に生まれ、120年受け継がれています。

当初は、児童養護施設として生まれ、その後平津の地に移転して新しい施設が完成した後、湘南学園に改称されました。現在は、児童養護施設としてだけでなく、幼保連携型認定こども園、障害福祉サービス事業所れもん会社、母子生活支援施設として、社会福祉の取り組みを進めておられます。分かりやすく説明していただき、ありがとうございました。



夏休み親子体験活動

令和6年8月3日(土) 9:20～ 南地区公民館

令和6年8月3日(土)9時20分より、南地区公民館において「夏休み親子体験活動」を開催しました。小学生11名、保護者8名の参加があり、民生委員児童委員11名とともに楽しいひと時を過ごしました。

活動内容の一つ目は、来年滋賀県で開催される全国障害者スポーツ大会で実施される「ポッチャ」にチャレンジです。彦根市スポーツ推進委員13名の皆様にご協力いただき、最初にポッチャの競技の仕方を教えていただき、その後4チームに分かれて対戦しました。次に、缶バッジ・メッセージカードづくり

を行いました。民生委員児童委員マスコットキャラクター「ミンジー」の缶バッジです。最後に、ミンジーと記念写真を撮影し、終了しました。



高齢者ふれあいサロン

令和6年9月3日(火) 14:00～ 南地区公民館

令和6年9月3日(火)14時より、南地区公民館において「高齢者ふれあいサロン」を開催しました。65歳以上の男女併せて31名の参加者を得て、民生委員児童委員10名とともに、楽しいひと時を過ごしました。

活動内容は、フィットネスインストラクターである疋田幸子(ともこ)さんに楽しい運動指導をしていただきました。1時間目は「太極舞&ストレッチ」、2時間目は「らくらくリズム運動」を、休憩を挟んで各40分間行いました。運動は椅子に座ったままでもできるので、参加者の皆さんは気軽に運動に取り組み、自分のペースで楽しんでおられました。

来年度も沢山の高齢者の皆様のご参加をお待ちしています。

